

2008年度各カテゴリー日本代表選手選考要項

財団法人日本水泳連盟水球委員会

日本代表選手団編成方針

日本代表選手団は、礼儀を尊び規律を遵守し、活力ある日本を代表するにふさわしい選手・役員をもって編成する。なお選手は、下記による選考過程により、国際舞台で十分な活躍が期待できる者を選考する。

選考方法

育成年代からナショナルチームに至る日本代表チームの強化を目的として、2008年度は下記国際競技会への参戦を計画している。ついては、各カテゴリー(男女スクワッド、ジュニア、及びカデット)の日本代表選手の選考について以下の要領で実施する。

選考カテゴリー及び選考会スケジュール(男女各3カテゴリー)

性別・カテゴリー	生年(08年齢)	選考(時期・場所)	2008年度目標大会	2009年度目標大会	
男子	スクワッド	規定無し	2008年3月15・16日 国立スポーツ科学センター	ワールドリーグ・ (世界選手権アジア予選)	世界選手権
	ジュニア	1991(17歳)	2008年3月15・16日 国立スポーツ科学センター	スロバキア国際大会 (2008年6月)	ジュニア世界選手権 アジア予選・本選
	カデット	1993(15歳)	2008年9月	2008年度新規国内研修合宿	
女子	スクワッド	規定無し	2008年3月15・16日 国立スポーツ科学センター	ワールドリーグ・ (世界選手権アジア予選)	世界選手権
	ジュニア	1991(17歳)	2008年3月15・16日 国立スポーツ科学センター	オーストラリア国際大会 (2008年9月または10月)	ジュニア世界選手権 アジア予選・本選
	カデット	1993(15歳)	2008年10月	2008年度新規国内研修合宿	

方法及び手順(男女スクワッド・男女ジュニア)

期間:2日間の選考合宿(初日:体力測定 2日目:選考試合)とする

体力測定:フィールド選手4項目 キーパー3項目 (http://www.swim.or.jp/11_committee/03_polo/0703241_3.htmlを参照)

戦術理解:攻防6項目(セットオフェンスの攻防、退水時の攻防、カウンターの攻防)について、3人の採点者による5点満点採点(監督のみエクストラポイント付加)

条件:各所属にて、監督推薦(体力測定基準値を突破し、将来の代表選手として高い資質を持つ)を得た選手

費用及び申し込み:参加にかかる個人費用(交通費等)は全額自弁とし、2008年3月1日(土)までに**別紙申込書**を電子メールにて下記宛先まで送付のこと

手順1:当該カテゴリーの代表監督を中心として、財団法人日本水泳連盟水球委員により構成された選手推薦委員会が体力測定、戦術理解の結果を元に総合的に評価し、ポジション毎に選手を推薦する

手順2:上述1の委員会より財団法人日本水泳連盟選手選考委員会に提出し、審議をうける

手順3:上述2の委員会による選考結果を、財団法人日本水泳連盟公式ホームページにて公開通知する

男女スクワッドに関しては、2008年度の全ての国際大会を対象とする代表選手とする

2007年度と同カテゴリー日本代表選手に関してのみ、財団法人日本水泳連盟水球委員会より選考会参加依頼状を出状するので、申し込みの必要は無い(参加にかかる個人費用は自弁)

財団法人日本水泳連盟水球委員会にて承認を受けた海外強化選手は、選考会への参加を免除する
男女ジュニアに関しては、第2次選考を別途実施する場合がある(詳細未定)

方法及び手順(男女カデット)

期間:2泊3日の研修合宿とする

条件:各所属にて、監督推薦(体力測定基準値を突破し、将来の代表選手として高い資質を持つ)を得た選手

参加費及び申し込み:参加費は全額自弁とし、期日までに別紙申込書を電子メールにて宛先まで送付のこと

参加可否連絡:カデット監督による書類審査後(人数調整含む)、参加可否を各指導者に対して連絡する

体力測定を合宿期間に行う事もあるが、必ず各所属にて実施しておく事

参加申し込み先

川上 哲(財団法人日本水泳連盟水球委員会技術部スタッフ) japanwaterpolo@hotmail.co.jp